

## 日本はいま危機にある!

北方領土を奪われ、竹島を奪われても、何もできない日本。  
いま尖閣まで奪われようとしている日本。  
拉致被害者を見殺しにしている日本。  
長期デフレと財政赤字に苦しむ日本。  
いじめ、失業者、自殺者、孤独死のあふれる日本。

こんな日本に誰がしたのか?

他でもない、われわれ国民一人一人である。  
国を支えるのは、国民一人一人しかない。  
今こそ、国家意識に目覚め、運命共同体として一丸となるべきとき。  
一丸になれば、必ずやこの困難を乗り越えられる。

逞しい日本、世界から頼りにされる、誇り高き日本を再建しよう。  
いまならまだ間に合う、いまこそ国家意識を取り戻さねばならない。  
いま立ち直らなければ、日本の明日はない。

21世紀の日本を担う諸君、共に、日本国家のあり方を見直そう!  
共に、日本が生き伸びるための確かな道を探り当てようではないか!

平成二十四年八月十五日

国家生存戦略研究会 会長 矢野義昭  
副会長 河原昌一郎  
副会長 横山和成

## 『あるべき日本の国防体制』に関する講座 —2ちゃんねるにも載らない国防論—

### 受講生募集案内

一国の安全保障の水準は、その国の国民の国防意識の水準によって定まると言っても過言ではありません。国民の国防意識が高い国では、適切な備えがなされることによって安全保障の水準は高く維持され、外国の侵略を容易に受けるようなことはありません。ところが、我が国では、戦後、反戦教育のみに重点が置かれ、国家の安全保障について本来あるべき教育や報道が行われてきませんでした。このため、「平和ボケ」と言われるように、現在の我が国国民の国防意識の水準は低く、不健全なものに陥っています。我が国は、長らく安全保障の拠り所を米国に依存してきたこともあって、自らの国を自らの力で守り抜くという気概をいつのまにか失ってしまったのです。

いま欧米にかつての力はなく、他方で中国の著しい軍備増強、北朝鮮の核・ミサイル開発等が進み、我が国の安全保障をめぐる情勢が厳しさを増す中、我が国国民の国防意識がこのような状態であることは極めて危険というほかありません。我が国で、いま、何よりも喫緊に求められているのは国民の国防意識の健全化と向上なのです。そして、国民の一人一人が国を守る気概を取り戻し、生き残るための戦略を自ら考えるようになることです。

本講座は、こうした問題意識に立って、戦争の原因、国家のあるべき姿、我が国をとりまく安全保障の現状、今後の国防体制のあり方等について、『あるべき日本の国防体制』(矢野義昭著、2009年、内外出版)を基本テキストとして、体系的、総合的な講義を行うこととしています。講義では、同書の著者矢野義昭をはじめ、3人の講師が分担し、7回に分けて、事例、背景、制度問題等に言及しながら、初心者にも十分に理解できることを心がけた説明を行います。私たちのめざしているものは、「2ちゃんねる」にも載らない我が国にとっていま本当に求められている国防論です。

日本の安全保障に関心のある方、また、本講座の趣旨に賛同していただける方の積極的なご参加を期待しています。

国家生存戦略研究会

kokka.seizon@gmail.com

## 「あるべき日本の国防論」講座カリキュラム (2ちゃんねるにも載らない国防論)

回	月日	講義名	概要	担当
1	9.12	<b>国家と戦争</b> 「軍隊って、何？ なぜ要るの？」	国家とは何であり、なぜ戦争は起こるのか、 なぜ国家のために戦うのか 「拉致問題はなぜ起こったのか」	河原
2	9.26	<b>戦争の原因</b> 「尖閣を守れ！」	戦争の原因と戦争を防ぐ効果的な方法につ いて考える 「領土をどう守るか」	矢野
3	10.10	<b>反戦論への反論</b> 「平和主義は平和を もたらすか？」	各反戦論への反論、絶対平和主義、ノンポリ、 地球市民主義の盲点 「オスプレイ反対運動が忘れてしているもの」	矢野
4	10.24	<b>国家戦略の確立と国 益、国防戦略</b> 「国家 目標を確立せよ！」	国家戦略とは、憲法問題、国益と国家目標、 国防戦略の位置づけ 「日本はなぜ成長目標を描けないのか」	矢野
5	11.14	<b>国家戦略の策定と総 合安全保障</b> 「何に備 え、どうするか」	国家戦略の定義と策定過程、総合安全保障戦 略、安全保障関連国家組織 「迫る中国の脅威から日本をどう守るか」	河原
6	2.6	<b>国防資源の動員態勢</b> 「何が使えるか」	総合安全保障戦略の観点から見た国防資源 動員態勢 「枯渇する食糧と農業の再生」	横山
7	2.20	<b>日本を取り巻く情勢 と安全保障</b> 「人口爆発 の中どう生き残るか」	国内外情勢の見通しと日本の安全保障の将 来方向(パネル方式、司会:横山) 「全員参加型：原発問題、徹底討論」	全員

日時：毎月、第2、第4水曜日、19時から20時半まで(11月後半～1月は休み)

場所：文京区音羽生涯学習センター「アカデミー音羽」(文京区大塚5-40-15 電話03-5976-1290、地下鉄有楽町線  
護国寺駅1番出口出て右へ100m、歩道橋のたもと)3階学習室B

料金：1人1回千円(高校生以下無料。資料代、部屋の使用料含む。当日徴集。6千円を一括納入すれば、どの回でも  
自由に参加できます。)

懇親会：一人3千円予定、当日徴集。場所等細部は当日連絡

申し込み方法：会員専用メールアドレス<kokka.seizon@gmail.com>まで、参加者名、携帯電話番号、懇親会参加の有無  
をご連絡下さい(先着30名。受付は講演当日の2日前まで)。

### 講師紹介

**矢野義昭**：岐阜女子大学客員教授(元陸将補)

国防論、核抑止論、テロ対処について研究。京都大学工学部、同文学部卒。修士(学術)[放送大学]、修士(社会科学)[東  
洋英和]、拓殖大学国際協力学研究科博士後期課程修了(安全保障)。著書「核の脅威と無防備国家日本」(光人社)等

**河原昌一郎**：農林水産政策研究所国際領域上席主任研究官

中国事情、米中台関係について研究。博士(農学)[東京大学]、修士(安全保障)[拓殖大学]。著書「詳解中国の農業  
と農村」(農山漁村文化協会、1999年)等。一橋大学等で食糧問題等講義

**横山和成**：農学博士、農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター情報利用研究領域上席研究員

北海道大学大学院農学研究科卒、元米ミシガン州立大学客員研究員。著書「食は国家なり！日本の農業を強くする5つ  
のシナリオ」(アスキー・メディアワークス、2010年)等。土壌微生物多様性・活性値評価技術等を開発